

令和6年10月19日

歴史講座「二郷半領と下総国2」

～成田山への道について～

はじめに

1、二郷半領と成田山

(1) 復習

・昨年登壇 10月21日。

千葉県野田市「千葉県立関宿城博物館」の展示会

◆「千葉県誕生150周年記念企画展 地図は世につれ人につれ」

<写真①>

◆「下総之国図」

<写真②>

(船橋市西図書館所蔵)

・・・江戸始め。まだ江戸川がない。

「絵図の右手」市川 →松戸 →小金 →流山 →野田(埜田)

「絵図の左手」戸ヶ崎 →番匠免 →彦成 →道庭 →中曾根

(2) 成田山信仰とは

・元禄年間江戸・深川で本尊(不動明王)出開帳

歌舞伎成田屋の興行。

・不動明王

・「成田詣」。3泊4日、参詣が大ブーム。

・成田山の「友の会」(講)

(3) 三郷市の見解

『三郷市史』

(4) 成田山の現在

●「初詣ランキング」

(資料1)

●「二月の節分」の豆まきに誰を呼んでいるか

(資料2)

歌舞伎の市川団十郎家
本年 NHK 大河「光る君」の俳優

<写真③>

(5) 成田講

◆「新版下総成田銚子香取常陸鹿嶋息栖略図」

(船橋市西図書館所蔵)

・・・まさに「成田山の版図」

<写真④>

(6) 武蔵国の成田講

(資料3)

(7) 二郷半領の講

(資料4)

2、成田山への道 (往還)

★行く道・往路

(1) 往路

・スタンダードな行き方は

「二郷半領➡江戸川渡し➡諏訪神社➡布施弁天➡利根川➡安食(あじき)➡成田」

(2) 二郷半領内

①道標たち

②不動明王たち

③昔の道

◆「大日本帝國陸地測量部」(明治39年)

(船橋市西図書館所蔵)

・・・明治期の三郷

<写真⑤>

(3) 武州みち

「安食➡の成田の陸路」が当時、「武州道」と呼ばれていた。

・記念碑。「岩槻宿の人々」と石工。高さ5メートル。

「埼玉県人」には忘れ去られた道。

(資料5)

<写真⑥>

★帰り道・復路

(1) 成田街道

・復路 ➡ 成田街道

「成田⇒酒々井宿⇒佐倉宿⇒臼井宿⇒大和田宿⇒船橋宿⇒八幡宿」

①船橋宿

- ・成田街道の中で最大規模の宿場で飯盛女も多く、歓楽街的な宿場であった。
船橋宿で精進落しをした。飯盛女（八兵衛）。

★復路の検証

- ・幕末から明治初めに、市川市鬼越に関所・記録所。
通過する旅人を監視。

（資料6）

3、成田詣の検証

（1）年間何回成田山へ上ったのか

- ・「月参講中」

（2）どのくらい的人数が成田山に上がったのか

- ・講中（団体客）
- ・個人

（資料7）

（3）男女の構成

（4）私説

- ・二郷半領の人々は、「講中」（村単位）の団体、「個人」（個人レベル）もあり。
成田山「講中」以外の地区の人々で、男性単独行動が多かった。
「成田詣」は旅という認識はなかった。ごく当たり前の日常生活の中の一コマであり、
名主の許可のみで簡単に行けた。

おわりに